

第49回全国ミニバスケットボール大会出場報告書

光井ミニバスケットボールスポーツ少年団

監督 木船孝史

この度、山口県代表として「全国ミニバスケットボール大会」に参加させていただきました。一昨年度、憧れの先輩が全国大会に初出場を決めたときから、当時4年生であった子供たちは、「私たちも全国大会に行きたい。」と思い続けていました。それだけに今回の出場は、子供たちにとって、目標を常に意識し続けることが、日頃の行動を変え、目標の達成につながることで実感できた貴重な経験となりました。

今回の大会は、これまでの代々木競技場ではなく、群馬県高崎市の高崎アリーナでの開催でした。試合もブロック優勝を決めない1日1試合の交歓大会でした。しかし、どのチームも各県を代表してきただけあって、行った3試合全てにおいて、子供たちは高いレベルの試合を経験することができました。また、それぞれの試合で、澁刺とコートを走り回り、自分の力を試すことや競り合うことを楽しむ光井ミニバスらしいバスケットができたように思います。

今回の全国大会では、戸惑ったこともありましたが、それは、マッチアップエリアにおけるマンツーマンディフェンスです。特に、オフボールディフェンスは、「ディフェンス側プレイヤーは常にマッチアップするオフense側プレイヤーが見えるか、感じられるように」と示されていた通りに教えてきたつもりではありましたが、これまでの大会でもそれほど注意を受けることはなかったのですが、この度は2試合でベンチのテクニカル・ファウルの適用を受けることになりました。今後、判定基準の格差の是正が求められてくると思います。

3日間の結果については以下の通りです。

1日目	沖縄県	46 - 33	光井	沖縄県代表：仲井真小学校
2日目	高知県	27 - 39	光井	高知県代表：三里 MBC
3日目	光井	49 - 43	兵庫県	兵庫県代表：明城 MBC

おわりに

この度は全国大会に様々な変化がありましたが、大会に参加できたことは、子供たちだけでなく、指導者、保護者にとっても貴重な経験となりました。今後のチームづくり、人づくりに生かし、子供たちの可能性を広げていきたいとします。

地区予選、県決勝大会、そして今大会に向けて様々な方から光井ミニバスに対して応援や励ましのお声等をいただきました。本当にありがとうございました。また、本大会のライブ配信を見られた方からも、たくさんの応援のメッセージをいただき力になりました。あらためてお礼申し上げます。

第 49 回全国ミニバスケットボール大会出場について

光井ミニバスケットボールスポーツ少年団

4 安田 詞音

私たち、光井ミニバスは『一勝一笑』をモットーに全国大会に出場するという目標を掲げて、この1年間練習を頑張ってきました。

秋の県決勝大会では、絶対に全国大会に出場したいという強い気持ちを持って、厳しい接戦試合を乗り越えて、全国大会出場のキップを手にする事が出来ました。

今年から全国大会は、リーグ戦ではなく全チーム3試合となったため、目標を「3試合全勝」と掲げて、試合に臨みました。

私たちが、一番この3試合で心掛けたことは、自分のマンツーマンの力を試すことと、ルーズボールを必ずとることでした。みんなが気持ちを全面に出して頑張りました。また、試合の中で特によかったなと思ったことは、チームのみんなでハイタッチをしたり声を掛け合ったりして、コートに立っているチームメイトとベンチで応援しているチームメイトのみんなで試合を盛り上げていたことです。コートの外からも男子の湯田ミニバスさんや県外の試合をしたことあるチームが応援してくれたことは、本当にうれしかったし大きな力にもなりました。

3勝することはできませんでしたが、全試合を全力プレーそして光井ミニバスらしい笑顔で心をつなげて全員プレーで戦えました。

全国大会という大舞台で、チームみんなで試合ができたこと、他のチームと交流がもてたこと、貴重な経験が出来たことは6年生12人という最高の仲間といつも全力でサポートしてくれる5年生がいたからだと思います。

そして、今までご指導して下さった監督・コーチ・サポートしてくれた保護者のおかげです。応援してくれたジュニア・OG・地域の方々・県内チームの方々本当にありがとうございました。

